



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社MCJ

コード番号 6670 URL <http://www.mcj.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長

(氏名) 高島 勇二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 石戸 謙二

TEL 03-5821-7114

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	19,213	△4.2	454	△49.2	505	△47.4	307	△39.8
24年3月期第1四半期	20,047	△2.2	894	63.8	961	121.2	509	165.3

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 675百万円 (△15.3%) 24年3月期第1四半期 797百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	6.04	6.04
24年3月期第1四半期	10.03	10.03

当社は、平成23年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本	%
25年3月期第1四半期	39,702		17,317		42.5	
24年3月期	36,916		16,904		44.7	

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 16,893百万円 24年3月期 16,488百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	—	0.00	—	5.14	5.14
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	4.12	4.12

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,669	7.2	840	△43.5	966	△40.5	524	△40.8	10.31
通期	89,194	11.2	2,255	△5.0	2,507	△4.1	1,395	△19.9	27.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3頁「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	50,862,300 株	24年3月期	50,862,300 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	10,034 株	24年3月期	10,034 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	50,852,266 株	24年3月期1Q	50,841,860 株
----------	--------------	----------	--------------

当社は、平成23年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3頁「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内閣府発表の月例経済報告によれば、依然として厳しい状況にあるものの、企業収益の持ち直しや個人消費の緩やかな増加がみられるなど緩やかに回復しつつあります。一方、当社グループが事業展開している欧州経済は、外務省発表の経済見通しによれば、債務危機の影響からユーロ圏における実質GDPのマイナス成長及び失業率上昇が見込まれており、厳しい環境で推移しました。

当社グループの属するパソコン業界におきましては、欧米における景気不透明感等の影響により、世界市場での総出荷台数は前年同四半期比で僅かに減少しました。また、社団法人電子情報技術産業協会の発表によれば、国内のパソコンの出荷台数は前年同四半期比9.1%増、出荷金額は同2.7%減となり、販売単価の下落が続いていることにより市場規模は前年同四半期比で縮小しました。

このような状況の中で、当社グループは、「マウスコンピューター」「パソコン工房」をメインブランドとするBTO（受注生産）・完成品パソコンの製造・販売と、CPU（中央演算処理装置）・マザーボード・HDD（ハードディスクドライブ）をはじめとするパソコン基幹パーツの卸売・小売を中心に、引き続きマーケットのニーズを的確に汲み取りながら、適切な収益の確保を念頭に置いて事業を展開してまいりました。

また、パソコン市場の成熟化の進行は避けられないことから、持続的な利益成長を目指すうえで既存及び隣接する事業分野でのM&Aを有効な選択肢の一つと考え、法人市場向けにHDD・SSD（ソリッドステートドライブ）等を販売するソルナック株式会社を当四半期より連結決算に組み入れたほか、愛知県を中心に小売事業を展開する株式会社グッドウィルを孫会社化し、第2四半期以降、連結決算に組み入れることとしました。

これらの結果、主力のパソコン販売は順調に販売台数を伸ばしたものの、販売単価の下落が続いており、またパーツ販売も引き続き低迷した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は19,213百万円（前年同四半期比4.2%減）となりました。また、利益面におきましては、販売単価の下落等により売上総利益率が前年同四半期比で低下し、営業利益は454百万円（前年同四半期比49.2%減）、経常利益は505百万円（同47.4%減）、四半期純利益は307百万円（同39.8%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(1) パソコン関連事業

「マウスコンピューター」ブランドによるパソコン、「iiyama」ブランドによる液晶ディスプレイ、及び「iriver」ブランドによるデジタルオーディオプレーヤーの国内製造・販売部門においては、法人向けの販売が前年同四半期実績を上回ったものの、販売単価の下落及びそれに伴う売上総利益率の低下等により、売上高・営業利益ともに前年同四半期比で減少しました。

「iiyama」ブランドによる液晶ディスプレイの欧州販売部門においては、順調に販売台数を伸ばしたものの、円高ユーロ安の進行により売上高は前年同四半期比で減少しましたが、販管費の抑制等により営業利益は前年同四半期比で増加しました。

「パソコン工房」「Faith」「TWO TOP」ブランドで全国に店舗展開する小売部門においては、パソコン販売は順調に販売台数を伸ばしたものの、主に店舗販売およびパーツ販売が低迷し、売上高・営業利益ともに前年同四半期比で減少しました。

パソコン及びCPU・マザーボード・HDD等パソコン基幹パーツの代理店販売・卸売部門においては、パーツ販売市場の低迷により、売上高・営業利益ともに前年同四半期比で減少しました。

これらの結果、当事業における売上高は18,804百万円（前年同四半期比4.1%減）、営業利益は408百万円（同51.4%減）となりました。

(2) メディア事業

メディア事業部門においては、出版市場の縮小が続く中、コンピューター関連書籍を主力としながら、積極的な新刊投入により売上の拡大に努めましたが、売上高・営業利益ともに前年同四半期比で減少しました。

この結果、当事業における売上高は410百万円（前年同四半期比7.7%減）、営業利益は40百万円（同27.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は39,702百万円となり、前連結会計年度末と比べて2,786百万円の増加となりました。これは、受取手形及び売掛金が減少したものの、商品及び製品が増加したほか、当第1四半期連結会計期間末において株式会社グッドウィルを連結子会社としたこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は22,385百万円となり、前連結会計年度末と比べて2,372百万円の増加となりました。これは主に短期借入金が増加したほか、株式会社グッドウィルを連結子会社としたこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は17,317百万円となり、前連結会計年度末と比べて413百万円の増加となりました。これは主に、剰余金の配当を実施したものの、四半期純利益により利益剰余金が増加したことに加え、その他の包括利益累計額が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、株式会社グッドウィルの孫会社化に伴い、平成24年5月15日に公表しました予想数値を修正しておりますので、平成24年5月24日付け「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、概ね平成24年5月24日に公表しました予想どおりに推移しております。

当社グループは、主力事業であるパソコン関連事業において、新製品及び新サービスの開発と、効果的な広告宣伝・販売促進施策の展開により、新たな顧客層を開拓することで売上高の増加に努め、連結業績予想の達成に向けて経営努力を重ねてまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,615,314	9,676,207
受取手形及び売掛金	9,759,470	8,350,594
営業投資有価証券	9,586	4,430
商品及び製品	7,575,492	9,591,858
仕掛品	99,259	108,253
原材料及び貯蔵品	2,072,134	2,045,717
その他	1,695,347	1,882,913
貸倒引当金	△20,532	△14,733
流動資産合計	30,806,073	31,645,242
固定資産		
有形固定資産	2,773,378	3,459,157
無形固定資産		
のれん	1,354,803	2,044,018
その他	434,253	518,093
無形固定資産合計	1,789,056	2,562,111
投資その他の資産		
その他	1,579,321	2,067,866
貸倒引当金	△31,637	△31,602
投資その他の資産合計	1,547,684	2,036,264
固定資産合計	6,110,119	8,057,533
資産合計	36,916,193	39,702,775
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,514,312	4,951,721
短期借入金	5,651,604	7,556,738
未払法人税等	487,995	198,052
引当金	819,458	810,997
その他	2,317,310	2,471,658
流動負債合計	13,790,681	15,989,168
固定負債		
社債	500,000	704,000
長期借入金	4,643,531	4,416,101
退職給付引当金	579,535	712,267
その他の引当金	111,140	114,180
その他	387,292	449,301
固定負債合計	6,221,498	6,395,850
負債合計	20,012,179	22,385,018

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,849,104	3,849,104
資本剰余金	8,335,508	8,335,508
利益剰余金	5,214,076	5,259,696
自己株式	△5,934	△5,934
株主資本合計	17,392,754	17,438,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,587	24,272
繰延ヘッジ損益	△25	△25
為替換算調整勘定	△950,402	△569,384
その他の包括利益累計額合計	△903,840	△545,138
少数株主持分	415,100	424,520
純資産合計	16,904,013	17,317,756
負債純資産合計	36,916,193	39,702,775

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	20,047,621	19,213,933
売上原価	16,019,144	15,810,045
売上総利益	4,028,477	3,403,888
販売費及び一般管理費	3,133,755	2,949,508
営業利益	894,721	454,379
営業外収益		
受取利息	16,792	7,072
負ののれん償却額	4,604	4,604
受取手数料	53,792	50,655
受取賃貸料	21,345	32,233
その他	10,526	12,220
営業外収益合計	107,061	106,785
営業外費用		
支払利息	25,145	16,973
為替差損	—	24,625
その他	15,428	13,800
営業外費用合計	40,574	55,399
経常利益	961,208	505,766
特別利益		
固定資産売却益	—	5,798
負ののれん発生益	3,339	—
特別利益合計	3,339	5,798
特別損失		
和解金	54,340	—
システム入替損失	18,912	—
その他	10,646	—
特別損失合計	83,899	—
税金等調整前四半期純利益	880,647	511,564
法人税、住民税及び事業税	370,425	155,586
法人税等調整額	△11,607	39,564
法人税等合計	358,818	195,150
少数株主損益調整前四半期純利益	521,829	316,414
少数株主利益	11,998	9,413
四半期純利益	509,831	307,000

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	521,829	316,414
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,232	△22,315
繰延ヘッジ損益	53,821	—
為替換算調整勘定	208,244	381,018
その他の包括利益合計	275,298	358,702
四半期包括利益	797,128	675,117
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	785,130	665,703
少数株主に係る四半期包括利益	11,998	9,413

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計上額 (注)2
	パソコン 関連事業	メディア 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,602,930	444,691	20,047,621	—	20,047,621
セグメント間の内部売上 高又は振替高	278	—	278	△278	—
計	19,603,208	444,691	20,047,900	△278	20,047,621
セグメント利益	841,494	56,524	898,018	△3,296	894,721

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,296千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△120,204千円、セグメント間取引消去116,904千円、その他の調整額3千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計上額 (注)2
	パソコン 関連事業	メディア 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,803,616	410,316	19,213,933	—	19,213,933
セグメント間の内部売上 高又は振替高	418	—	418	△418	—
計	18,804,035	410,316	19,214,352	△418	19,213,933
セグメント利益	408,822	40,767	449,590	4,789	454,379

(注) 1. セグメント利益の調整額4,789千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△109,075千円、セグメント間取引消去113,862千円、その他の調整額2千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載の通り、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間のセグメント損益に与える影響は軽微であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。